

3 市民と一緒に未来をつくる基本政策

■子育て環境日本一の小金井

本市の人口は、昨年10月に、市制施行以来、初めて12万人を突破したところですが、我が国全体を見渡すと、急激な人口減少は避けて通ることのできない重要な問題であると考えます。持続可能な小金井市をめぐすためには、子どもを産み、育て、子育てに関わるすべての方々を支援する、まち全体の総合力を高め「子育て環境日本一」の実現に向けて、全力で取り組む必要がございます。平成30年度も引き続き、これまでの取り組みを発展・充実させ、妊娠から子育て期間まで切れ目のない支援を行ってまいります。

待機児童の解消は、本年4月に向けて、新規保育施設4園の開設や既存園の定員拡充など、保育定員の確保を進め、引き続き待機児童ゼロに向けた施策を積極的に展開してまいります。

加えて、民間の保育園で勤務される保育士の処遇改善やベビーテントの貸し出しなどに取り組みます。また、公立保育園の民営化につきましても、市内で保育や幼児教育に携わる多くの方々のご理解、ご協力をいただきながら、関係者の皆様と信頼関係の構築を図り、円滑に運営形態の移行ができるよう、より一層丁寧な準備を進めてまいります。学童保育事業につきましても、あかね学童保育所の大規模化に向けた取り組みを進めます。また、本年4月から、さらさらび学童保育所およびみなみ学童保育所の2施設について学童保育業務の民間委託を実施することとし、円滑な移行となるよう最大限の配慮を行ってまいります。さらに、放課後における子どもの居場所を充実させるため、一体型の放課後子どもプランを推進してまいります。

模化に向けた取り組みを進めます。また、本年4月から、さらさらび学童保育所およびみなみ学童保育所の2施設について学童保育業務の民間委託を実施することとし、円滑な移行となるよう最大限の配慮を行ってまいります。さらに、放課後における子どもの居場所を充実させるため、一体型の放課後子どもプランを推進してまいります。



ご当地介護予防体操「小金井さくら体操」

また、ひとりの暮らしや高齢者のみの世帯が増加することを見据え、市認定ヘルパー制度の推進を図ります。加えて、本年5月には、市内3つ目となる特別養護老人ホームの開設が予定されており、地域に根ざした高齢者福祉の拠点の一つとして、その活躍に期待したいと考えております。

続いて、障がい者福祉につきましても、早期に「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」の制定をめざしてまいります。その他、パラリンピック選手をお招きした講義を開催するなど、差別的解消に向けた取り組みを拡充してまいります。

このほか、学校施設においては、学習の場、生活の場としてふさわしい環境の整備を行い、すべての子どもたちに笑顔があふれるまちづくりを進めてまいります。

■健康・幸福・長寿(※2)・やさ(※3)の小金井

高齢者の皆様が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることのできる地域社会の実現は市民共通の願いでもあり、各種の計画を相互に関連させながら地域共生社会の実

■歩いて楽しいにぎわうまち小金井

本市には、豊かな自然や歴史ある建造物など魅力ある観光資源がたくさんございまして、「あるものさがし」そして「あるものみがき」の視点を大切に、市内に新たなにぎわいを創出したいと考えております。

市制施行60周年記念事業につきましても、ロゴマークとキャッチコピーを選定し、10月7日に予定しております小金井 宮地楽器ホールで行う記念式典を中心として、節目の年にふさわしく記憶に残る事業を実施してまいります。

魅力発信につながる取り組みにつきましても、江戸東京の「衣・食・住」をキーワードとして新たな都市型観光の魅力を創出する「江戸東京でおもてなし事業」を継続して実施するとともに、市立はげの森美術館においては、他県に所在する公立美術館との共同巡回展を開催いたします。



市立はげの森美術館

本年4月には「nonow a 武蔵小金井ムサコガーデン」がオープンし、近隣には家族で楽しめる公園の整備も予定されていますので、新たなにぎわいがまた一つ生まれることを大変喜ばしく思っております。

ためには、市民生活を根幹から支えるライフラインを整備することは非常に重要だと考えます。特定緊急輸送道路の沿道建築物の所有者の方々に耐震補強設計、耐震改修などに関する知識の普及啓発や助成制度等に係る情報提供に努めるほか、電線地中化に向けてチャレンジ路線の選定に着手するなど、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

他方、市内から発生する廃棄物の処理につきましても、一日たりとも滞ることがあってはなりません。本市においては、日野市・国分寺市と共同で設立した浅川清流環境組合において安定した可燃ごみ処理の準備を進めており、資源循環型社会の形成に資するため、平成29年度末までに「清掃関連施設整備基本計画」を策定し、平成30年度には、施設整備に向けた支援業務の発注や予定地の測量業務などを実施する予定です。中間処理場や空き缶・古紙等処理場などの既存施設の整理、二枚橋焼却場跡地の活用等を含む再配置につきましても、これまで同様に地元の方々への感謝を忘れず、慎重かつ丁寧に協議を進め、安定的な適正処理の維持・継続に努めてまいります。

大規模災害の発生に対しては、防災力の向上が求められています。「自助」「共助」「公助」の精神に基づき、災害に強いまちづくりの実現をめざし、各防災関係機関との連携の強化や地域住民の防災力の向上に努めるほか、平成30年度には「災害廃棄物処理計画」を策定してまいります。

また、空き家等への対応につきましても、「空家等対策計画」を策定し、防災、衛生、景観など市内の生活環境の保全を図るための取り組みを進めてまいります。



市消防団による訓練

市内の犯罪の発生や、振り込め詐欺等の被害が後を絶たない状況にあります。防犯指針に基づき取り組みを進めるとともに、引き続き「こきんちゃんあいさつ運動」や自動通話録音機の無料貸与に取り組みほか、市民防犯講習会の開催など、円滑で効果的な防犯協力体制づくりをめざしてまいります。

また、空き家等への対応につきましても、「空家等対策計画」を策定し、防災、衛生、景観など市内の生活環境の保全を図るための取り組みを進めてまいります。

市内の犯罪の発生や、振り込め詐欺等の被害が後を絶たない状況にあります。防犯指針に基づき取り組みを進めるとともに、引き続き「こきんちゃんあいさつ運動」や自動通話録音機の無料貸与に取り組みほか、市民防犯講習会の開催など、円滑で効果的な防犯協力体制づくりをめざしてまいります。

在り方などを整理する中で、小金井らしいみどりをより一層、守り育ててまいりたいと思っております。

さらに、市民農園につきましては、くりやま市民農園を本年4月から再開することも新たに(仮称)ぬくいみなみ市民農園を開設するため、必要な準備を進めてまいります。このほか、学校給食における小金井産野菜の使用拡大などにより、都市農業の保全に資する取り組みを重層的に進めてまいります。



くりやま市民農園

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで残り2年あまりとなりました。平成30年度におきましては、オリンピックを招いた競技クリニックの開催や、市民まつりの会場内にパラリンピックスポーツの紹介ブースを設置するなど、スポーツの力と価値を改めて見直す契機とし、本市にとりまして大会後のレガシーとなるよう努めてまいります。また、市制施行60周年記念事業では、本年10月に都立小金井公園において「特別巡回フラジオ体操・みんなの体操」の実施を予定しており、市民の皆様にとりまして、生活習慣病の予防や健康を保持・増進す

3面へ続く